

# 昭和村からむし織 糸づくり研修事業 研修生募集

手績み糸づくり職人を志す方大歓迎!

応募期限：9/3(金)

奥会津昭和村は、高品質なからむしの生産地であり、越後上布・小千谷縮布への原料供給地としても広く知られています。古より伝わるからむしの生産技術は歴史も長く、国選定保存技術として高い評価を受けています。

この研修事業では、先人たちの思いを継承し伝統技術を未来に繋げるため、上質なからむしを使用し、極細の手績み糸を作ることのできる高い技術を持った績み手の後継者を育成します。

※「績む」とは・・・麻・からむしなどの繊維を細く裂き、より合わせて糸にすること。

## 事業概要

### 1. 目的

からむし糸づくりの高度な技術を習得し、仕事として糸作りに従事できる人材を育成します。

### 2. 内容

からむしの上布づくりを目指し、細く均一な糸(麻番手 100 番)を月3<sup>かせ</sup>総(66g)績む技術を身につけることを最終的な目標とし、各々の習熟度に応じて指導を行います(未経験者でも大丈夫です。)

### 3. 研修期間 最長6ヶ月間

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、期間の短縮・延期・中止になる可能性があります。

### 4. 研修方法

- 原則週5日(月～金)午前8時30分から午後5時15分まで、からむし会館にて糸作りを行います。
- 研修期間中必要な物品(電子はかりなど)は貸出します。
- 糸の質・量ともに課題を設け、日誌(指定様式)に作業時間及び糸の量を記入し、毎月末に1ヶ月間績んだ糸を提出して品質等について評価を受けます。
- 欠席・遅刻が多いなど研修態度が良好でない場合、また、課題(目標)を達成できない場合は、研修を中止する場合があります。

### 5. 研修中の助成等

研修期間中に、以下のとおり月額15万円を目安に報償費を支払います。

期間	内容
1ヶ月～ 3ヶ月目まで	細い糸作りの基本的な技術を習得する期間となります。3ヶ月目に月1 <sup>かせ</sup> 総(22g)以上を達成することを目標とします。糸量に関わらず月額15万円を支給します。
4ヶ月目	細く均一な糸を安定して作ることを目指す期間です。2 <sup>かせ</sup> 総(44g)を目標に頑張りましょう。12万円+1 <sup>かせ</sup> 総(22g)につき3万円支給します。
5ヶ月目以降	仕事として糸作りをする場合、早さも重要です。月3 <sup>かせ</sup> 総(66g)を目指します。9万円+1 <sup>かせ</sup> 総(22g)につき3万円支給します。

## 6. その他

研修中のケガ等については、村が加入する傷害保険の範囲内で対応します。

### 募集人数

若干名

### 応募資格

令和3年4月1日現在の年齢が満18歳以上45歳未満の方。性別不問、糸作り未経験可。

### 募集期間

令和元年度募集	募集締切	選考会日程	研修開始日
	9月3日(金)	9月16日(木)	10月1日(金)

※ 選考会に出席できない場合、個別に御相談ください。

### 応募方法

**写真を貼った履歴書**（健康状態、日中繋がる連絡先を必ず記載してください）、**志望動機**（原稿用紙2枚程度）を下記送付先まで郵送又は直接持参にて提出してください。

<送付先>

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 611 からむし会館内  
昭和村からむし後継者育成協議会 事務局（昭和村役場からむし振興室）

### 選考方法

書類選考・面接による選考会を行います（会場までの交通費は応募者の自己負担となります。）。応募いただいた方に、選考会の時間、場所等の詳細を連絡いたします。

### 研修中の生活

1. 研修期間中の住居については村で斡旋します。
2. 住居費・生活費は自己負担となります。昭和村での生活費の目安は以下のとおりです。

費目	金額（月あたり）
住宅費	5,000円～20,000円程度
光熱水費	10,000円～20,000円程度
食費	30,000円程度
合計	45,000円～70,000円

※ このほかに、国民健康保険料、国民年金、住民税、通信費及び交通費等がかかります。

### 研修修了後について

研修修了後、講師から合格の判定を受けた研修生は、昭和村からむし後継者育成協議会（※）に所属し、糸績みその他の仕事を紹介いたします。

※ 昭和村内のからむし生産者及びからむし織技術者等により構成する、からむし及びからむし織の技術伝承等に関する事業を行う団体